

淀川水系流域委員会 第96回運営会議（2008.5.16開催）結果報告		2008.5.23 庶務発信
開催日時	2008年5月16日（金）15:00～16:40	
場 所	メルパルク京都 4F 研修室2	
参加者数	委員4名 河川管理者3名 一般傍聴者5名	
<p>1. 報告の概要：庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。</p> <p>2. 審議概要および決定事項 次回委員会および今後の審議の進め方等について審議がなされた。決定事項と主な意見は以下の通り（例示）。</p> <p>①第79回委員会審議内容（議事）について 第79回委員会（5/27）の審議内容が以下の通り決定し、同委員会で諮ることとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題1・・・「今後の委員会の審議について」 ・議題2・・・「淀川水系河川整備計画原案（平成19年8月28日）に対する意見についての河川管理者からの質疑」 <ul style="list-style-type: none"> ・河川管理者からの説明はもう必要ないのか。 →第78回委員会に引き続き可能であれば再度説明の時間を頂きたい（河川管理者）。 →第78回委員会で議論できなかった「今後の委員会の審議について」をまず議論した後に河川管理者からの補足説明を行うこととする（委員長）。 ・残っている論点を確認した上で重点的に議論すべき論点と進め方を決めなければいけない。 ・それぞれのテーマについて担当委員を決めて、例えば統合的流域管理システムといった大きな論点とその他の個別の論点を並行して審議をやっていくということかどうか。個別の論点については河川管理者にも資料を準備しておいてもらいたい（委員長）。 ・第78回委員会で環境の議論をした時に委員から多くの意見が出されたが、これらを意見としてどう集約していくかという部分については工夫する必要がある。 <p>→例えば「流域の統合管理」ひとつとっても委員お一人ずつ考えが異なっており、河川管理者としては対応が難しい（河川管理者）。</p> <ul style="list-style-type: none"> →意見に反映させるべきか継続的に議論していくべきかを今後の議論を通じて整理していく必要がある（委員長）。 ・第78回委員会の議論を足がかりに環境・治水・利水をどう考えるかということについて委員会として議論しなければという感覚が委員の中には強くあると感じており、原案に対する意見として集約できる形にもっていくことを考えながら議論していく必要がある。 <p>②6月以降の審議内容と会議日程について 6月以降の委員会開催候補日が以下の通り決定し第79回委員会において諮ることとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第80回委員会・・・6月3日（火）16:00～20:00 ・第81回委員会・・・6月30日（月）10:00～13:00 ・第82回委員会・・・7月17日（木）13:30～17:30 ・第83回委員会・・・7月30日（水）16:00～20:00 ・第84回委員会・・・8月22日（金）16:00～20:00 <p>③その他</p> <p>○議事録確認についての報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、議事録確定作業において気になる修正等があった場合は庶務より委員長へ報告し、個別に対応するというのでよいか（庶務）。 →そのような対応でお願いします（委員長）。 <p>○委員会運営に係るコストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末のレビュー委員会や先日の国会答弁の中で委員会運営に係るコスト削減の話が出てきており、河川管理者としてもコスト管理を考えていかなければいけないと考えている（河川管理者）。 ・例えば会場費の削減や委員会資料を配布せずスライドのみとする方法等が考えられる（河川管理者）。 →委員と一般傍聴者で（委員のみ資料を配布する等）差が出なければ構わない（委員長）。 →全体の費用がどれぐらいで、どう改善すればどれぐらいのコスト削減が可能なのか具体的な案をまずは運営会議等で示してもらわなければ議論ができない。 <p style="text-align: right;">以上</p>		
<p>※運営会議の結果報告は、主な決定事項等の会議結果をお知らせするために庶務から発信させて頂くものです。</p>		